

保護者の皆様

川崎市立宮崎中学校

校長 田中 真理子

平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果概要と 宮崎中学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本校におきましては、学校教育目標を実現するために、次の 3 つの資質・能力の育成を目指して、日々の教育活動に取り組んでおります。

宮崎中学校が育成を目指す資質・能力	目指す生徒像
<ul style="list-style-type: none"> ○ 実生活に活用できる基礎的・基本的な知識や技能 ○ 身につけた知識を活用して自ら考え、表現する力 ○ 主体的、協働的に取り組もうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身ともに健康な生徒 ○ 自ら学び、考え、実行できる生徒 ○ 周りとは協働できる生徒 ○ 礼儀正しい生徒

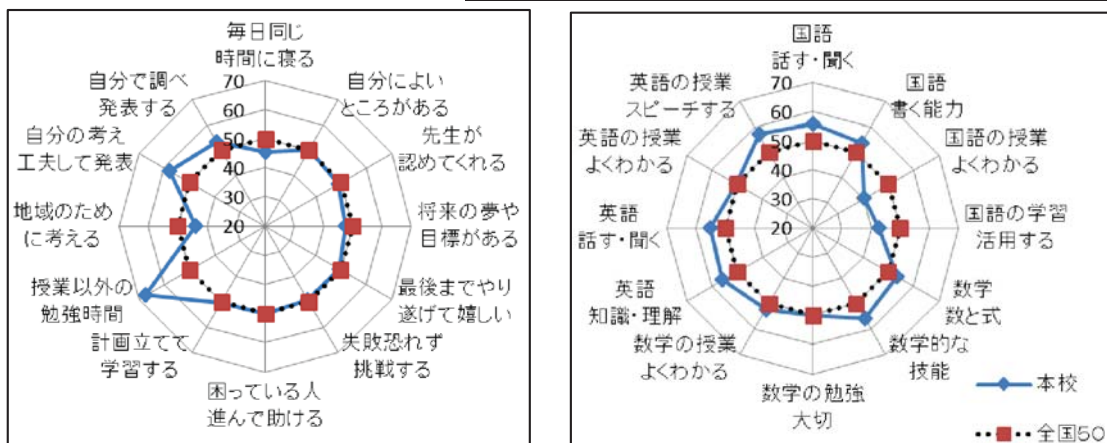
このたび、4 月 18 日（木）に 3 年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査（国語・数学・英語）の調査結果から見えてくる教育活動の成果と課題の一部をお知らせし、今後、本校が目指す目標の実現に向けて、保護者、地域の皆様と共により一層充実した教育活動を進めていきたいと思っております。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領にも示されておりますので、保護者、地域の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただき、ご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 調査結果の概要

*示している数値は、教科調査および質問調査の各設問の「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の

合計数値で、()は全国の数値です。下の図は 全国の結果を 50 とし、本校と全国との差を示したグラフです。



2. 調査結果をもとにした今後の取組

(1) 心身ともに健康な生徒を育てるために

- 自分にはよいところがある。 74.4% (74.1%)
- 自分の考えを工夫して発表する。 64.5% (55.8%)
- 将来の夢や目標を持っている。 67.9% (70.5%)
- 地域のために何をすべきかを考える。 33.4% (39.4%)

- おおむね良好と捉えています。発表活動などを通して、自他を共に認めあえる活動に取り組んでいると捉えています。
- 全国平均を下回っています。日頃の活動から目標を決めたり、自分が何をすべきか考えたりすることが必要と考えられます。



【今後の取組】

昨年度に引き続き、「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒は全国平均を上回ることができませんでした。職場体験学習や地域フィールドワークなどの体験活動の振り返り活動を充実させ、自ら学び、考える生徒の育成を推進し、「将来の夢や目標を持っている」生徒が今年度を上回るように努めます。

(2) 自ら学び、自ら考え、実行できる生徒を育てるために

・国語

- 論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する。 91.7% (87.4%)
- 文章に表れているものの見方や考え方について自分の考えを持つ。 92.4% (91.8%)
- 国語の勉強は好きですか。 55.5% (61.7%)
- 国語の授業の内容はよくわかりますか。 68.0% (77.6%)

- 論理的な思考や心情表現の読み取りは全国平均を上回り、昨年度の課題を克服して、おおむねよい状況にあると考えています。
- 学習に対する関心や意欲を含めて、達成感や充実感が全国平均を下回っています。わかる授業づくりに課題があると考えます。

・数学

- 数学の勉強は好き。 64.1% (57.9%)
- 数学で学習したことが将来役に立つ。 77.9% (76.2%)
- 数学的な技能 69.7% (63.9%)
- 式や言葉で説明する問題をどのように回答したか。
→ 全て解答しなかった。 5.7% (4.2%)

- 全国平均よりも高く、主体的に取り組んでいる生徒が多いと捉えています。
- 説明する問題に手を付けない生徒が一定数おり、知識や技能はあるが、活用し表現する力に課題があると考えます。

・英語

- 生徒同士で意見を述べ合う活動がある。 79.4% (77.4%)
- 即興で考えなどを伝え合う活動がある。 68.7% (62.9%)
- 英語を「聞いて」概要や要約をとらえる活動があった。 69.8% (79.2%)
- 英語を「読んで」概要や要約をとらえる活動があった。 74.8% (81.2%)

- 「書くこと」「話すこと」については、全国平均を上回り、能力の定着が見られます。
- 「聞くこと」「読むこと」については、全国平均を下回っています。リスニングや長文読解に力を入れる必要があると考えます。



【今後の取組】

国語では、言葉に着目してその特徴や効果に気づき、意味や働きについて考えを深めながら作品を読み取る授業づくりを目指します。特に、読み取った内容をもとに自分の考えを互いに言葉で表すことの意義やよさを通じて、国語学習の楽しさが体験できるよう努めます。その結果、「国語の勉強は好きですか。」の設問に対して、肯定的に答える生徒が今年度を上回るよう努めます。

数学では、問題の解き方などの技能が高い生徒が多いので、課題として挙げられる「自ら活用し表現する力」を育むために、教科横断的な課題に取り組むことを通して、主体的、協働的に取り組む態度を養っていきたいと考えています。その結果、「式や言葉を使って説明できる」生徒が今年度を上回るよう努めます。

英語では、コミュニケーション活動を行う際、目的や場面、状況設定を工夫することで、生徒が興味関心を持ち、一人ひとりが主体的に活動に参加できる授業づくりに努めます。

教育委員会から：宮崎中学校では、自ら学び、考え、実行できる生徒の育成を目指して、「わかる授業」に向けて様々な取組を行っています。日常的に発表する活動を通して自他共に認めあうといった取組を通して「自己肯定感」「自己有用感」が育まれてきているものと考えております。【宮前区・教育担当】